



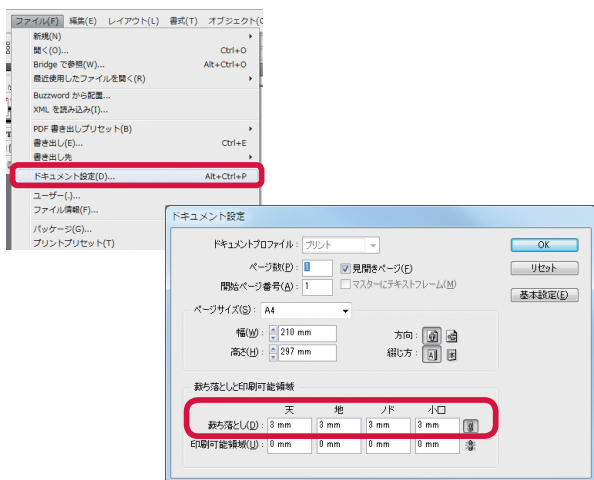
InDesign からのPDFデータ作成方法

CS3 CS4
CS5 CS6
CC CC2014
CC2015 CC2017

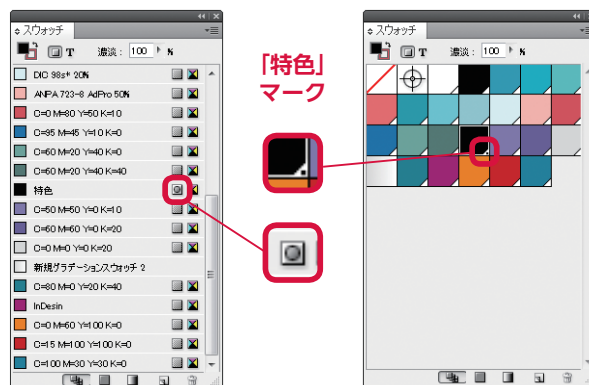
※画面はCS5のもので。 ※CS2以前のバージョンは別途お問い合わせください。

PDF 作成前の確認

- 1 「裁ち落とし」を設定します。
メニューから「ファイル」→「ドキュメント設定」をクリックし、「裁ち落とし」を3mmにしてください。

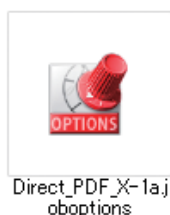


- 2 「スウォッチパネル」で「特色」を使用していないか確認してください。

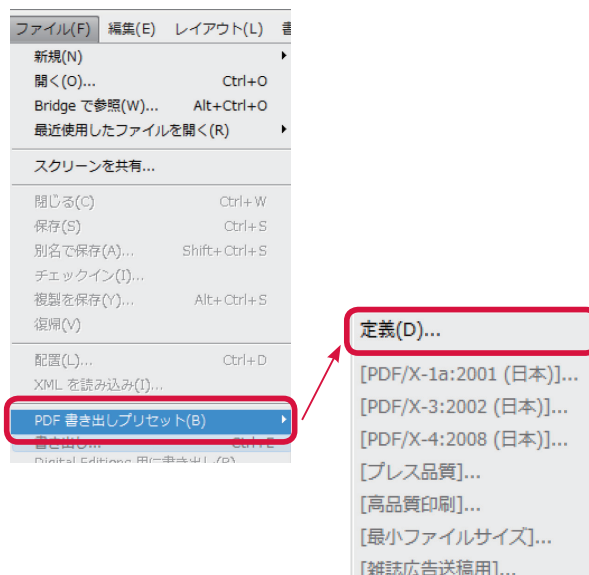


準備 (設定の読み込み)

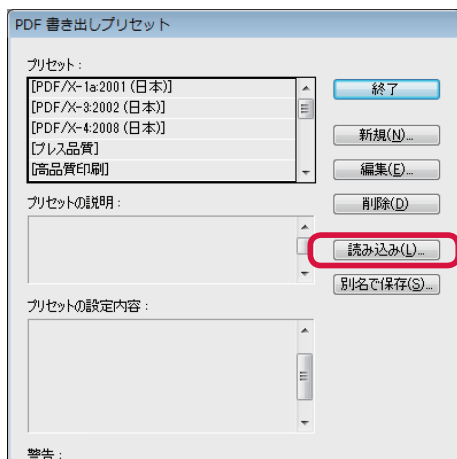
- 1 PDF作成のための設定を準備します。
弊社WEBサイトからダウンロードしていただくか、データをお渡しします。



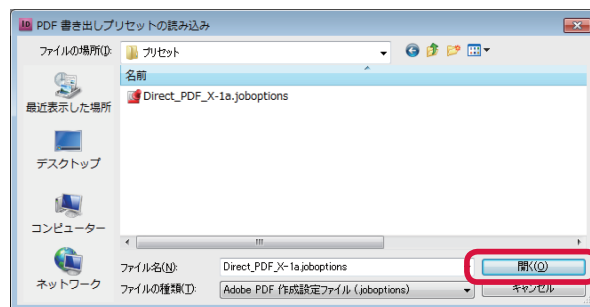
- 2 プリセットを読み込みます。
InDesignを起動して、メニューから「ファイル」→「PDF書き出しプリセット」を選択し、「定義」をクリックします。



- 3 PDF書き出しプリセットのパネルから「読み込み」をクリックします。



- 4 ファイル選択画面から「Direct_PDF_X-1a.joboptions」を選択して「開く」をクリックします。

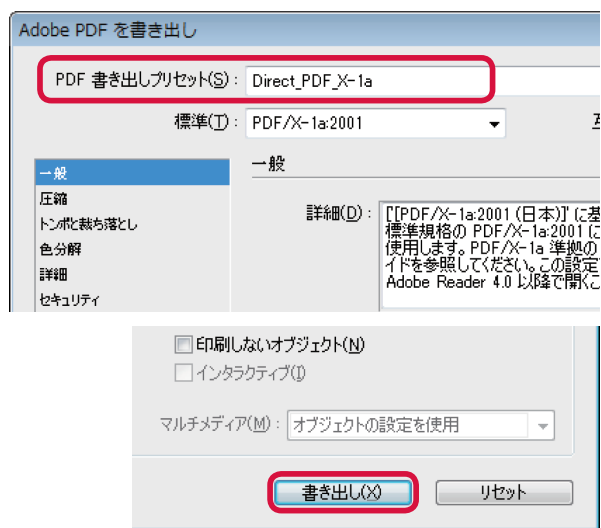


PDF ファイルの作成

- 1 メニューから「ファイル」→「書き出し」をクリックします。



- 2 PDF書き出しプリセットを「Direct_PDF_X-1a」にし、「書き出し」をクリックします。



これでPDFファイルが作成できました。
PDFファイルの確認方法に進んでください。



Adobe Reader (Acrobat)を使ったPDFの確認方法

※画面はWindows 7、Acrobat Xのものです。

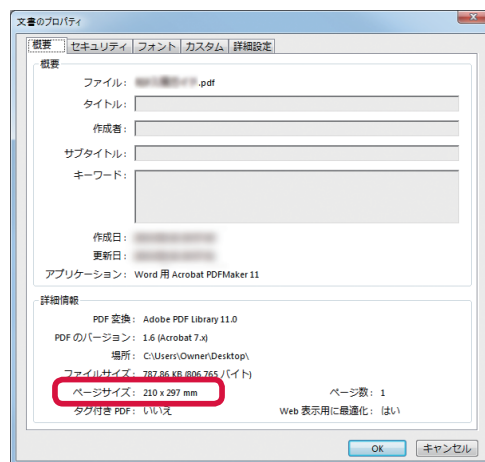


作成したPDFの確認

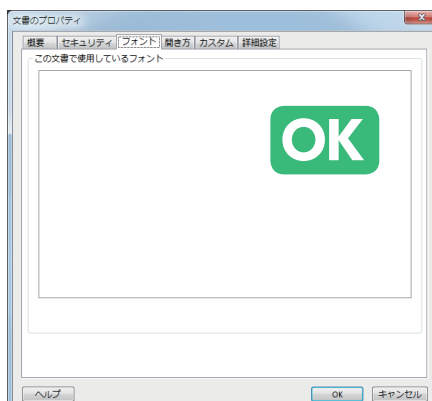
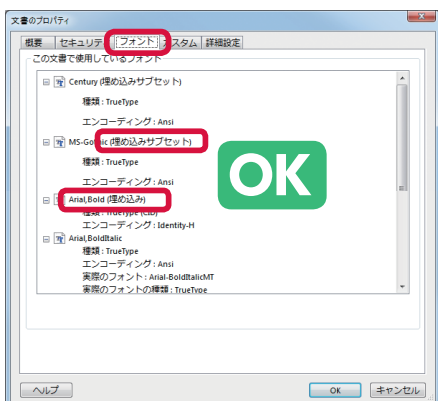
- 1 Adobe Reader (もしくはAcrobat) で、作成したPDFを開きます。
メニューから「ファイル」→「プロパティ」をクリックしてください。



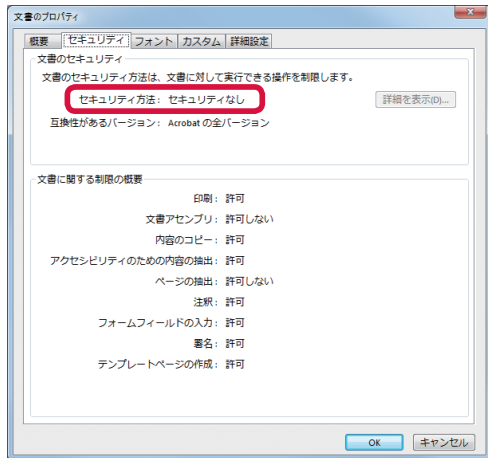
- 2 「概要」タブでページサイズが正しいか確認してください。
※全てのページサイズを統一してください



- 3 「フォント」タブで、フォントが埋め込まれているか確認してください。
全てのフォントが「埋め込み」もしくは「埋め込みサブセット」になっていればOKです。
アウトラインがかかっている場合は何も表示されません。



- 4** 「セキュリティ」タブで、セキュリティがかかっていないか確認してください。
セキュリティがかかっていると、弊社で操作することができません。

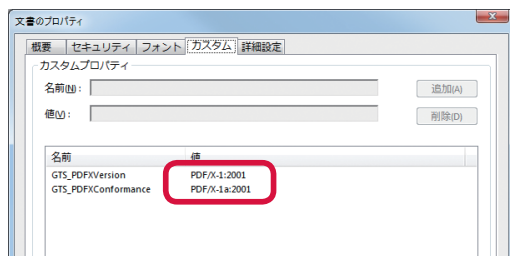


- 5** 文字化け・文字ズレ・ヌケがないか、画像や透明効果が粗くなっていないか、確認してください。

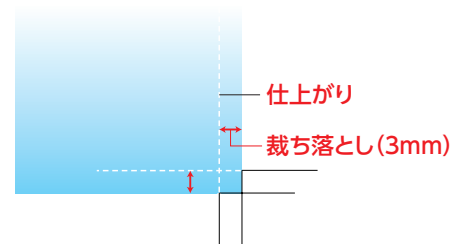
作成元のデータが正常でもPDF変換することで、作成したPDFに文字ズレや画像ヌケが発生することがあります。
異常の有無を確認してください。

InDesign、Illustrator の場合

- 6** 「カスタム」タブでは「PDF/X-1a」と表示されているか確認してください。



- 7** PDF上で塗り足しが足りているか、文字などが仕上がりギリギリになっていないかを確認してください。



- 8** 作成したPDFからプリントし、原稿として弊社担当までお渡しください。

入稿時のチェックポイント

※入稿前に今一度、正しいデータができていないか以下の10項目についてご確認ください

- ① ウィルスチェック済ですか？
- ② 元データのカラースペースはCMYKもしくはグレースケールで作成しましたか？
- ③ 白およびグラデーションのオーバープリントは設定していませんか？
- ④ ヘアライン（0.05mm）以下のオブジェクトはありませんか？
- ⑤ PDFのページサイズが正しいか確認しましたか？
- ⑥ PDFの全てのフォントが「埋め込み」もしくは「埋め込みサブセット」となっていますか？
- ⑦ PDFのセキュリティがかかっていないか確認しましたか？
- ⑧ PDF変換後、文字化け、文字ズレ、ヌケはありませんか？
- ⑨ PDF変換後、画像もしくは透明効果は粗くなっていませんか？
- ⑩ PDFは仕上り原寸+塗り足し（3mm）で作成されていますか？